

仙台市で総会&研修会開く

「復興への呼びかけを」

=WT I 研修交流会=

日本水道協会が実施しているイギリスWT I (ウォーター・トレーニング・インターナショナル) 研修の修了者で組織する「WT I 研修交流会」は10日、仙台市内のホテルで第16回総会を開催した=写真。およそ40人が出席、今年度の同研修の修了者による報告や、東日本大震災の被害・復興などをテーマにした講演を通じて交流と知識習得に努めた。なお、来年度の総会は下関市で開かれる予定。交流会には今年1月現在、175人の会員がいる。



I 研修生、元千葉県水道局)が「被災地からの意見・提案を聞いて、復興への呼びかけをしたい」と仙台市で開く総会の意義を話せば、来賓として招かれた同市の高橋亨・水道事業管理者が「今年は“復興元年”。水道も必要な整備を図りその一翼を担いた

総会の冒頭、会長を務める秋葉有一・東京ガス・エンジニアリング(株)エンジニアリング本部マッピング技術部部長(1995年WT

い」とあいさつした。

総会では、来年度の事業計画などを審議、すべて議案通り了承。続いて報告会・研修会に移り、報告会では2011年WT I 研修団長を務めた広島市水道局施設部牛田浄水場の岡田淳氏が研修のもようを紹介。研修会では、常盤剛史氏(厚生労働省水道課課長補佐)が水道分野における国際協力について講演したのに続いて、震災をテーマに東北大学大学院工学研究科災害制御研究センター津波工学研究室のサッパシー・アナワット博士が津波被害と今後の備えについて、仙台市からは水道局の佐藤康浩氏(2005年WT I 研修生)が水道施設の被害、震災復興本部震災復興室の鈴木淳志氏が「仙台市復興計画」について講演した。